

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

事業所名 アオハル

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点及び課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である	○		活動に合わせて必要なスペースの確保を行っている。
	②	職員の配置数は適切である	○		基準に従って職員の配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		玄関からバリアフリーとなっている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		定期的に職員会議を行い業務改善に努めている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者の意見も聞き取りしながら業務改善に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		評価結果はホームページで公表している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		評価の結果を業務改善につなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		社内研修、外部研修と積極的に実施している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童発達支援管理責任者の他にも職員を同席させ事業所全体で共有できるように取り組んでいる。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		クラウドシステムを活用し状況を把握しやすくしている。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員全体で立案会議を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		プログラムは月単位で利用者の状況に合わせて企画している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		利用者の状況に応じて課題の設定を行っている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別集団と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		個別支援と集団活動を適宜組み合わせた活動を計画している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		午前・午後と利用者が来所前に打ち合わせを行っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後に職員間で振り返りを行い次回の支援につなげている。

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		保護者にも確認して頂けるようクラウドシステムを使い記録をとっている
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		おおよそ6ヶ月ごとにモニタリングを行い計画の見直しを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		ガイドラインの内容を職員全体が理解できるよう取り組んでいる。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者と精通した職員が参画している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		送迎時や電話で状況の共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		対象になる児童はいないがかかりつけ医がいる利用者は注意事項等の連絡体制を整えている
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		相談支援専門員に間に入って頂き情報共有している。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		現在はまだ対象児童がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		他事業所の見学や研修への参加を行い連携をとれるよう意識している。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		今年度は感染症対策でできていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		職員も参加できる組織を探していきたい。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		定期的な面談や送迎時に児童の様子を伝えている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		個性・長所をについて伝えながら家庭でできる取組みについてアドバイスしている。
保護者への説明責任等	⑳	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約時に丁寧な読み合わせを行っている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		その場で助言できないときは職員間で共有してから後日助言を行っている。
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		コロナ過で直接保護者が集まる機会がなかったが今後は再開していきたい。
	㉓	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		面談だけでなく電話等で適切に対応している。

	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		保護者専用のクラウドシステムやSNSも活用をして発信している。
	③⑤	個人情報には十分注意している	○		SNSの取り扱いには今後も十分注意していく
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		言葉だけでなく視覚で確認できるようにも配慮している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	コロナ過で実施できていないが今後再開していきたい。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルはいつでも閲覧できるようファイリングしてある。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		利用児童参加のもと年2回以上の訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルの作成や職員研修を行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		マニュアルの作成や職員研修を行っており、保護者にも契約時に読み合わせを行っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		初回見学時、利用契約時とアレルギー等の聴き取りは必ず行っている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		報告書作成の際は職員で事例検討会を実施し改善に努めている。